

【翻訳・紹介・展望・解説・辞典項目等】

1. 木村敏訳 (不明) パウル・ヒンデミット「ヨハン・セバスチアン・バッハ」『音研』、45～59 頁。
2. 木村敏訳 (不明) エトウイン・フィツシャー「ヨハン・セバスチアン・バッハ」『音研』、4～18 頁。
3. 長広敏雄・木村敏訳 (1957) パウル・ヒンデミット「ヨハン・セバスチアン・バッハ」『芸術新潮』第 8 巻第 5・6 号。
4. 木村敏訳 (1960) ビンスワンガー「精神医学における人間」『みすず』第 2 巻第 6 号、19～34 頁。
5. 木村敏 (1966) Petrilowitsch: Abnorme Persönlichkeit. 2. erw. Aufl. 『精神医学』第 8 巻第 1 号、80～85 頁。
6. 木村敏 (1967) 「臨床精神病理学」『日本医事新報〈特集・診断及び治療上の進歩〉精神科』第 2237 号 (3 月 11 日号)、20～21 頁。
7. 木村敏訳 (1967) エーミール・シュタイガー「ビンスヴァンガー追憶の辞」『みすず』1967 年 9 月号 (第 100 号)、42～49 頁。
8. 木村敏訳 (1968) フーバート・テレンバッハ「苦悩と希望の意味形態」『日独文化研究所所報』第 26・27 号、19～28 頁。
9. 木村敏 (1972) W. Blankenburg: Der Verlust der natürlichen Selbstverständlichkeit. 『精神医学』第 14 巻第 1 号、75～81 頁 (『分裂病の現象学』)。
10. 木村敏・宇野昌人訳 (1975) ボス「現存在分析的現象学に照らした分裂病性の Kranksein」『精神医学』第 17 巻第 5 号、440～453 頁。
11. 木村敏 (1979) 「フーベルトゥス・テレンバッハ」荻野恒一他監修『現代精神病理学のエッセンス』ぺりかん社、397～416 頁。
12. 岡本進・木村敏 (1980) A. Kraus: Sozialverhalten und Psychose Manisch-Depressiver. Eine existenz- und rollenanalytische Untersuchung. 『精神医学』第 22 巻第 9 号、977～981 頁。
13. 鈴木茂・木村敏訳 (1980) H. テレンバッハ「〈あいだ〉と役割」『現代思想』第 8 巻第 11 号、91～97 頁。
14. 若松昇・木村敏訳 (1980) W. ブランケンブルク「現象学的エポケーと精神病理学」『現代思想』第 8 巻第 11 号、98～117 頁。
15. 木村敏・小俣和一郎訳 (1980/81) Jakob Wyrsh: Über „Mischpsychosen“. 『精神医学』第 22 巻第 12 号；1349～1353 頁；第 23 巻第 1 号、63～72 頁；第 23 巻第 2 号、193～198 頁。
16. 木村敏 (1981) 「“psicopatologia” 誌の創刊号 (躁病特集)」『臨床精神病理』第 2 巻第 2 号、242～258 頁。
17. 木村敏・高橋潔訳 (1981) V.E.v. ゲープザッテル「離人症問題に寄せて——メランコリ

一理論への一寄与」『精神医学』第23巻第11号、1185～1197頁；第23巻第12号、1293～1304頁（松下正明・影山任佐編『現代精神医学の礎Ⅳ』時空出版、2010年、107～146頁に再録）。

18. 木村敏（1983）「精神病理学」『医科学大事典』講談社、第27巻、94～96頁。
19. 木村敏（1983）「内因」『医科学大事典』講談社、第35巻、122～123頁。
20. 木村敏（1983）「敏感関係妄想」『医科学大事典』講談社、第40巻、254～254頁。
21. 木村敏・清水将之訳（1985）J.-E. マイヤー「強迫症と離人症——比較精神病理学の一試論」抄訳『臨床精神病理』第5巻第2号、164～168頁。
22. 木村敏（1985）「ウィルシュ『精神分裂病人格』」『ブックガイド・精神科医のための160冊』Excerpta Medica、141～141頁。
23. 木村敏（1985）「テレンバッハ『メランコリー』」『ブックガイド・精神科医のための160冊』Excerpta Medica、146～146頁。
24. 木村敏（1986）「S. フロイト「転移神経症概観」について」『思想』第742号（1986年4月号）、27～32頁。
25. 木村敏・山谷教一訳（1986）フロイト「転移神経症概観」『思想』第742号（1987年4月号）、33～48頁。
26. 木村敏（1991）「長井真理——その人と仕事」長井真理著・木村敏編『長井真理論文集 内省の構造——精神病理学的考察』岩波書店、233～256頁。
27. 木村敏（1991）用語解説「自然な自明性」『臨床精神医学』第20巻第10号、1597～1598頁。
28. 木村敏（1993）「あいだ」『新版精神医学事典』弘文堂。
29. 木村敏（1993）「アンテ・フェストウム／ポスト・フェストウム」『新版精神医学事典』弘文堂。
30. 木村敏（1993）「家族否認症候群」『新版精神医学事典』弘文堂。
31. 木村敏（1993）「ゲープザッテル」『新版精神医学事典』弘文堂。
32. 木村敏（1993）「ブランケンブルク」『新版精神医学事典』弘文堂。
33. 木村敏（1993）「ブランケンブルク」『現象学事典』弘文堂。
34. 木村敏（1993）「自然な自明性の喪失——寡症状性分裂病の精神病理学に関する考察」『現象学事典』弘文堂。
35. 木村敏（1993）「テレンバッハ」『現象学事典』弘文堂。
36. 木村敏（1993）「メランコリー——問題史・内因性・性格類型・病因・臨床」『現象学事典』弘文堂。
37. 木村敏訳（1995）ゲオルク・グロデック「エスの探究としての心身医学研究——行われなかった講演から」『精神分析』第3巻、37～48頁。
38. 木村敏（1995）ゲオルク・グロデック「エスの探究としての心身医学研究——行われなかった講演から」訳者解説『精神分析』第3巻、48-53頁。

39. 木村敏訳 (1996) V.v. ヴァイツゼッカー「医学・臨床・精神分析」『Imago』臨時増刊『フロイトと精神分析の現在』(1996年2月号)、118～137頁。
40. 木村敏訳 (1996) W. ブランケンブルク「精神病理学的観点からみた自然さと不自然さ」芦津丈夫・木村敏・大橋良介編『文化における〈自然〉——日独文化研究所シンポジウム』人文書院、115～129頁。
41. 木村敏 (1998) 「人と人との間」『社会学文献事典』弘文堂。
42. 木村敏 (1998) 「自覚の精神病理」『社会学文献事典』弘文堂。
43. 木村敏 (1998) 「ブランケンブルク：自明性の喪失」『社会学文献事典』弘文堂。
44. 木村敏 (1998) 「ヴァイツゼッカー」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
45. 木村敏 (1998) 「ゲシュタルトクライス」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
46. 木村敏 (1998) 「自然な自明性」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
47. 木村敏 (1998) 「精神医学」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
48. 木村敏 (1998) 「精神分裂病」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
49. 木村敏 (1998) 「躁鬱病」『岩波哲学・思想事典』岩波書店。
50. 木村敏 (2000) 解説「私事と共通感覚」中村雄二郎『共通感覚論』岩波現代文庫、375～382頁。
51. 木村敏 (2003) 「ヴァイツゼッカー『病因論研究』」『精神医学文献事典』弘文堂。
52. 木村敏 (2003) 「ヴァイツゼッカー『ゲシュタルトクライス』」『精神医学文献事典』弘文堂。
53. 木村敏 (2003) 「ヴァイツゼッカー『生命と主体——ゲシュタルトと時間／アノニユマ』」『精神医学文献事典』弘文堂。
54. 木村敏 (2003) 「ヴァイツゼッカー『病いと人——医学的人間学入門』」『精神医学文献事典』弘文堂。
55. 木村敏 (2003) 「木村敏『分裂病の現象学』」『精神医学文献事典』弘文堂。
56. 木村敏 (2003) 「木村敏『自己・あいだ・時間』」『精神医学文献事典』弘文堂。
57. 木村敏 (2003) 「木村敏『時間と自己』」『精神医学文献事典』弘文堂。
58. 木村敏 (2003) 「木村敏『直接性の病理』」『精神医学文献事典』弘文堂。
59. 木村敏 (2003) 「木村敏『あいだ』」『精神医学文献事典』弘文堂。
60. 木村敏 (2003) 「木村敏『分裂病と他者』」『精神医学文献事典』弘文堂。
61. 木村敏 (2003) 「木村敏『偶然性の精神病理』」『精神医学文献事典』弘文堂。
62. 木村敏 (2003) 「テレンバッハ『メランコリー』」『精神医学文献事典』弘文堂。
63. 木村敏 (2003) 「長井真理著／木村敏編『内省の構造——精神病理学的考察』」『精神医学文献事典』弘文堂。
64. 木村敏 (2003) 「ハイデガー著／ボス編『ツォリコーン・ゼミナール』」『精神医学文献事典』弘文堂。
65. 木村敏 (2003) 「ビンスワングァー『精神分裂病』」『精神医学文献事典』弘文堂。

66. Introduction by Yoshiaki Motobayashi, Josef Parnas. Trans. by Yoshiaki Motobayashi, Bin Kimura, Dylan Luers Toda (2016): *The “Schizophrenic” in the self-consciousness of schizophrenic patients’, by Mari Nagai (1990)*. *History of Psychiatry*, 27/4; 493–503.
67. 木村敏訳（不明）R. Kuhn 「トフラニール療法の実施にあたっての諸問題（抄訳）」藤沢薬品工業株式会社パンフレット。